

道徳通信かがわ

第2号
平成26年7月8日(火)
香川県教育委員会事務局
義務教育課

道徳教育研究推進校 公開授業 その1

平成26年6月12日(木)午後、高松市立龍雲中学校の校内研究会において、第2学年と第3学年で道徳の公開授業が行われました。

3年1組では、木村教諭が主題名「自己の人生を切り拓く」(内容項目1-4)で、歌手の小田和正さんと平井堅さんの生き方を知り、選択することの意義とその重要性を考えるという内容で行いました。生徒に身近な歌手を取り上げたり、事前にアンケートをとったりして、生徒の心に響く道徳の授業を展開するために工夫された授業でした。



2年2組では、合田教諭が主題名「人間理解と生きる喜び」(内容項目3-3)「正義、校正・公平」(内容項目4-3)で、『きいちゃん』(山本加津子作)を使って、再現構成法による道徳の授業を展開しました。教卓の周りに生徒が椅子を持って集まり、先生の巧みな語り引き込まれながら登場人物それぞれの生き方を考えていました。



どちらの授業も生徒と先生のよい関係が伺え、生徒の発言でつながっていく、落ち着いた授業でした。

事後の協議では、どのように道徳の時間の授業を構想していくか等が話し合われました。

山下校長先生からは、道徳の教科化に向けて、「道徳教育に対する教員の苦手意識を取り除くことが必要。そのため、授業を見て、いろいろな指導法を学ぶ機会を確保しています。」とのお話を聞かせていただきました。



三豊市立高瀬中学校、坂出市立坂出中学校の公開授業等についても、順にお知らせします。

道徳羅針盤

「私たちの道徳」を
持ち帰らせましょう。

文部科学省からの通知文には、「私たちの道徳」を、学校だけでなく、持ち帰って家庭や地域で活用することがうたわれています。書き込み欄に家族からの励ましをもらったり、家庭や地域で話し合ったことや地域の方に取材したことを書き込んだりすることも効果的です。

もうすぐ夏休みです。「私たちの道徳」を持ち帰らせて、家庭や地域での活用を促してみましよう。

